かごしま検定～鹿児島観光・文化検定～

第 33 回かごしまグランドマスター試験 問 題 用 紙

(午前 10 時 00 分開始 制限時間 120 分)

注意事項

1. 答案用紙の記入にあたっては、黒鉛筆またはシャープペンシルを使用する。
2. 答案はすべて答案用紙に記入し、提出する。
3. 答案は答案用紙の「記入例」をよく読んでから、記入する。

令和 5 年 6 月 4 日

鹿 児 島 商 工 会 議 所

《自然》

問1. 令和元年に鹿児島県の武家屋敷群「麓」が日本遺産に認定された。「麓」の背後には山城が控えていることが多い。そのほとんどがシラス台地の地形や地質の特性を利用して作られている。シラス台地を形づくる地層は、ほぼ入戸火砕流堆積物と言って良い。入戸火砕流堆積物の地質学的背景や山城に適した特徴について、200字程度(160字以上240字以内)の文章で書きなさい。但し、以下の3つのキーワードを使用すること。

「湾奥部」

「非溶結」

「工具」

《歴史》

問2. 西南戦争後の鹿児島県の産業振興について200字程度(160字以上240字以内)の文章で書きなさい。但し、以下の3つのキーワードを使用すること。

「興業館」

「士族授産」

「西本願寺」

《文化》

問3. 薩摩義士について200字程度(160字以上240字以内)の文章で書きなさい。但し、以下の3つのキーワードを使用すること。

「平田」

「治水神社」

「青少年交流」

《産業経済》

問4. 屋久島の特徴について、200字程度(160字以上240字以内)の文章で書きなさい。但し、以下の3つのキーワードを使用すること。

「九州最高峰」

「30周年」

「島内電力」

《地域》

問5. 以下の地域に関して次の問に答えなさい。

【1】志布志市に関する文章の空欄に当てはまる語句を記入しなさい。

志布志市は、大隅半島の東部にあり、平成18年に松山町、志布志町、
①の三町が合併して誕生した。

沖合4キロメートルの地点に浮かぶ小さな無人島②は、島一つまるごと国の特別天然記念物に指定され、亜熱帯植物群の中を散策したり、海岸では魚釣りを楽しむことができる。

妊婦の守護として有名な③では、豊かな湧水の池や観音堂があるほか、志布志城跡の麓地区には武家屋敷があり、江戸時代に造られた平山氏庭園や天水氏庭園で往時をしのぶことができる。

志布志湾では古くから④漁が盛んであり、この地で採れるものは、背中が白いことが特徴で「背白（せじろ）④」と呼ばれている。

また、志布志港は、国内有数の畜産地帯である南九州地域を背後に持ち、国内外との物流拠点としての機能を担い、平成29年からは、
⑤(穀物)として整備されている。

【2】伊佐市の紹介を、200字程度(160字以上240字以内)の文章で書きなさい。但し、以下の3つのキーワードを使用すること。

「金」

「東洋のナイアガラ」

「郡山八幡神社」